1集/情報政策課 ■ 0287(23)8798



## 全国大会を前に活躍を誓って 親園小学校ソフトボール部表敬訪問



親園小学校ソフトボール部(親園 WINS)の選手が第 35回全日本小学生ソフトボール大会出場を報告する ため、市長を表敬訪問しました。

代表で訪問した4名の選手は尊敬する選手や全国大 会への抱負などを市長と語り合いました。

7月31日から宮崎県で開催された全国大会では、 惜しくも2回戦で敗退してしまいましたが、全国とい う舞台での貴重な経験によりチームの更なる成長が期 待されます。



## 物を大切に使う意識づけに 大田原ロータリークラブからの寄贈



大田原ロータリークラブから、文部科学省「GIGAスクール構想」により市内の小学校に配備されたパソコン(クロームブック)を自宅や校外で活用する際の持ち運びに役立ててもらいたいと、パソコンケース 600 個の寄贈がありました。

この日は、黒羽小学校の児童2名が代表となり、田平隆司会長からパソコンケースを受け取りました。

パソコンケースは、市内全小学校の1年生に配付し、 学習活動で活用するとともに、子どもたちは物を大切 にすることの意味を学びます。

## 市史編さんだより vol.12

明治 43 年(1910)、佐久山に青年会が誕生します。後の佐久山町青年団の前身です。活動は、巡回文庫や一夜講習会・講演会・座談会・農事研究および講習会などが行われたようです。会長に町長、副会長に佐久山尋常小学校校長が当たるなど、青年たちの学習意欲を向上させ、併せて青年たちの規範が求められた時代でもありました。

そして、大正9年(1920)に佐久山町青年団と改称します。 昭和期にはいると青年団主催の盆踊りが始められ、村芝居や 活動写真(映画)なども、青年団が興行元となるなど、地域の 社会生活を支える存在へと、青年団は活動を広げていきます。

昭和30年(1955)年代になると、治山治水の考え方から佐久山の水源は高原山にあるとみて、保全活動を行うことにしました。それが、高原山の国有林の伐採や草刈り、植林の作業です。例年、2泊3日で、男子12名・女子10名ほどが、塩原温泉の新湯に分宿して作業をしました。これは、青年団の活動資金となり、その中で謄写版(印刷機)を購入したといいます。

なお、佐久山女子青年団の前身である「春光会」は、明治38年(1905)に発足しています。女子青年団については資料が少なく、写真や記録などがありましたら、ご連絡ください。 (民俗部会 金井 忠夫)

【お詫び】広報おおたわら9月号でお知らせした「天狗王国夏まつり」は平成22年度を最後に、現在は「天狗王国まつり」と名称を変えて開催しています。

## 民俗部会調査速報④ ~佐久山の青年団の活動~

問文化振興課 本4階 ■(23)3135



実相院での講演会(昭和30年代)



高原山での植樹風景(昭和30年代)